

経営学科	教授	周 劍龍	大学院の授業担当 無
教育活動			
教育実践上の主な業績		年月日	概要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)			
1	教材選択、授業の進行計画や授業の組み立て、予習のさせ方など、授業の設計に関する工夫。	2012年度～2013年度現在	<p>商法演習I、商法演習 テキストを指定せず、裁判例、事例の解説資料を中心に関連資料を教材として利用する。授業内容は会社法に関する演習で、28回に分けられる。毎回は重要な事例を1取り上げ、事例の概要から関連する会社法の条文、制度の趣旨などへと基本的には質問する形で演習を進める。</p> <p>中国ビジネス・ロー 中国の現状が急速に変化していることに鑑み、テキストを指定せず、重要な参考書として「現代中国法講義(第3版)」を指定する。授業開始から、3回ほど中国の基本的な政治、経済制度を学生に理解させるために、中国憲法について解説する。毎回授業の冒頭、5分ほどで中国関連の新聞記事(法律関係が多い)を解説し、学生に現代中国事情に興味を持ってもらう。</p> <p>手形小切手法 未修者を対象に授業するため、教材として定評のある斐閣双書『新版手形法・小切手法』を使用する。その他、裁判例、事例の解説資料などを多く利用する。手形法・小切手法の内容を28回分の授業に分けて、毎回の重要論点に合わせて重要な事例を1以上選び、事例の説明から関連する手形・小切手法の条文、制度の趣旨などへと授業を展開する。</p> <p>民事総合演習V テキストを指定せず、裁判例、事例の解説資料を中心に関連資料を教材として利用する。本演習は会社法に関するアドバンス授業と位置付けられ、28回に分けられる。毎回は重要な事例を元に問題作成し、学生に回答させる。学生の回答について演習参加者全員が議論する形で演習を進める。</p> <p>商法総則・商行為法 未修者を対象に授業するため、教材として近藤光男著『商法総則・商行為法』を使用する。その他、裁判例、事例の解説資料などを多く利用する。商法総則・商行為法の内容を28回分の授業に分けて、毎回の重要論点に合わせて重要な事例を1以上選び、事例の説明から関連する商法総則・商行為法の条文、制度の趣旨などへと授業を展開する。</p>
			<p>商法演習I、商法演習 「理論と実務教育の架橋」を意識して、事例を用いながら、抽象的な会社法概念や、条文を解説し、学生の実際の問題解決能力を養う。</p> <p>中国ビジネス・ロー 「理論と実務教育の架橋」を意識して、事例を用いながら、抽象的な中国民法概念や、条文を解説することを試みる。</p>

経営学科		教授	周 劍龍	大学院の授業担当 無
2	授業内容の選択や授業実施に当たり、司法制度改革審議会意見書にいう「理論教育と実務教育の架橋」を意識した取組。	2012年度～2013年度現在	手形小切手法 「理論と実務教育の架橋」を意識して、事例を用いながら、難解抽象的な手形・小切手法の概念や、条文を解説することを試みる。	
			民事総合演習V 「理論と実務教育の架橋」を意識して、裁判例を元に議論の材料に使用し、学生の実際の問題解決能力を養う。	
			商法総則・商行為法 「理論と実務教育の架橋」を意識して、裁判例を元に議論の材料に使用し、学生の実際の問題解決能力を養う。	
3	授業に当たり、学生に考える力や議論する力をつけさせるための工夫、方法、効果。	2012年度～2013年度現在	商法演習I、商法演習 事例の事実関係の整理、論点の明確化、基本概念の整理、裁判所の法的判断、関連する学説に対する意見などについて授業中に随時質問する。それは効果をあげていると思う。	
			中国ビジネス・ロー 授業の性質の関係で、解説が中心となるが、時折授業中に質問し、議論をさせる。それは効果をあげていると思う。	
			手形小切手法 事例の事実関係の整理、論点の明確化、基本概念の整理、裁判所の法的判断、関連する学説に対する意見などについて授業中に随時質問する。効果があげられると思う。	
			民事総合演習V これまで習った会社法の知識を総合的に運用する力を身につけることは本演習の目的である。学生同士の議論を中心に授業を進める。それは効果をあげられると思う。	
			商法総則・商行為法 事例の事実関係の整理、論点の明確化、基本概念の整理、裁判所の法的判断、関連する学説に対する意見などについて授業中に随時質問する。効果があげられると思う。	
			商法演習I、商法演習 授業中に随時質問するほか、中間テストをさせ、レポートを書かせることによって、学生の理解度をチェックする。	
			中国ビジネス・ロー 授業中に質問する形で、学生の理解度をチェックする。	

経営学科		教授	周 劍龍	大学院の授業担当 無
4	授業を進めるに当たり、学生の理解度をチェックする方法等。	2012年度～2013年度現在	手形小切手法 授業中に随時質問するほか、中間テストをさせることによって、学生の理解度をチェックする。	
			民事総合演習V 授業中に質問するほか、中間テストをさせ、レポートを書かせることによって、学生の理解度をチェックする。	
			商法総則・商行為法 授業中に質問するほか、中間テストをさせることによって、学生の理解度をチェックする。	
5	授業後の学生の理解のフォローの実施、レポート、オフィスアワー等に関する工夫。	2012年度～2013年度現在	商法演習I、商法演習 授業の直後50分間の質問時間を設けるほか、オフィスアワーを利用して、学生の質問に答える。	
			中国ビジネス・ロー 授業の直後50分間の質問時間を設けるほか、オフィスアワーを利用して、学生の質問に答える。	
			手形小切手法 授業の直後50分間の質問時間を設けるほか、オフィスアワーを利用して、学生の質問に答える。	
			民事総合演習V 授業の直後50分間の質問時間を設けるほか、オフィスアワーを利用して、学生の質問に答える。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項				
学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)				
年月日		活動内容		
1991年4月～現在		日本私法学会会員		
2004年10月～2008年3月		JICA中華人民共和国経済法(企業法)整備支援プロジェクトにかかる国内支援委員会委員		
		東埼玉資源環境組合情報公開審査会委員		
		中国・全国商法学会理事		

経営学科	教授	周 劍龍	大学院の授業担当 無
	日本法社会学学会会員		
	中国法学会商法学研究会理事		
その他			